

文翔館

BUNSHOKAN vol. 63

30th ANNIVERSARY

表紙は2025年6月6日・7日に開催された「さくらんぼメモリアルフェスタ」の写真。

Information & Contents

文翔館時計塔見学会／文翔館の日
 スタインウェイを弾いてみよう／文翔館展示事業
 文翔館自主事業／文翔館30周年ミニコラム
 館長室から etc...

館長室から ～割れた文字盤が語りかけるもの～



▲亀裂の入った文字盤

文翔館は、今年10月1日に開館30周年を迎えます。改めて、これまで文翔館を支えてくださった多くの県民や関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。10月の「文翔館の日」では、記念の行事や講演会などを企画しておりますが、これに先立ち収蔵品展「文翔館30年の軌跡」を開催いたしました。

この展示の中で一際存在感を示していたのが、時計塔の古いガラスの文字盤です。昨年、創建以来百年以上、時を刻んできた時計塔の正面文字盤に亀裂が見つかり、交換を余儀なくされました。文翔館の塔時計は、現在稼働するなかでは札幌市時計台に次いで国内で2番目に古いものですが、時折県民の皆さんから時間が合っていないとのご連絡を

いただきます。開館以来、親子二代にわたり塔時計の管理を担ってられる時計職人の榎谷秀一さんが5日ごとに鐘の分銅を巻き上げ、時刻を合わせていますが、機械式時計は気温の変化等で常に誤差が生じます。先代の二郎さんも夏場に時計が進みやすいことを不思議に思っておられました。特に最近、猛暑による大幅な誤差のため、秀一さんの手を煩わせることがあります。また、文字盤の亀裂も、南からの強い日差しに晒されてきたことが老朽化の一因と考えられています。次の百年、時計塔が文翔館のシンボルであり続けるには、こうした新たな問題への対応も必要であり、知恵を出しながら後世に引き継いでいくことが私共の役目と考えています。



▲時計塔内部

『いま語り継ぎたい職人たちの修復』出版されました！

重要文化財に指定されている山形県旧県庁舎及び旧県会議事堂。本書はそのうち旧県会議事堂の昭和・平成の修復の際に記された、工事に携わった職人の手記を中心にまとめた、修復の記録です。

この修復工事には、地元山形の職人たちが多く参加しています。日頃は一般建築の仕事に従事する彼らが、文化財の修復にいかになって挑んだのか。戸惑い、驚き、達成感など、手記には当時の彼らの素直な心情が綴られています。

この書籍は県立図書館等にて貸出しています。ご興味ありましたら図書館にて是非ご覧ください！※詳しくは図書館へお問合せください。



編集・発行「いま語り継ぎたい職人たちの修復」を制作する会

文翔館からのお知らせ

開館時間 9:00～16:30
 休館日 第1・3月曜日（祝日・休日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）※8月5日～14日は18:30まで開館時間を延長します。

文翔館
 ホームページ >>>
 文翔館 >>>



ギャラリー

会議室

議場ホール

貸館のご案内

文翔館では、議場ホール・中庭・会議室（2室）・ギャラリー（8室）をお貸ししています。発表会やコンサート、会議、展示会などにご利用ください。利用のお申込は6ヶ月前からの受付で、毎月最初の開館日の9:30より抽選会を行っています。詳しくはお問い合わせください。 TEL 023-635-5500

文翔館 SNS



X
 @y_bunshokan



Instagram
 @bunshokan_official



Facebook
 @bunshokan_official

編集後記

6月に文翔館を会場にやまがたフルーツ150周年記念式典が行われました。2025年は山形県にさくらんぼや西洋なしなどの苗木が植えられてから150年目になるそうです。文翔館は今年で開館30周年、これから多くのお客様にお越しいただけるよう努めてまいります！（発行日：令和7年8月21日）

「文翔館 vol.63」電子版とバックナンバーは「ヤマガタイブックス」にアクセス！ >>>



■アクセス

山形駅よりベニちゃんバス中心市街地行き市役所南口下車徒歩5分
 駐車場は文翔館の北側にございます。（無料・約40台）
 ※満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。（割引サービスはございません。）

山形県郷土館



〒990-0047 山形県山形市旅籠町3丁目4番51号
 指定管理者：公益財団法人山形県生涯学習文化財団
 TEL 023-635-5500 FAX 023-635-5501
 URL https://www.gakushubunka.jp/bunshokan/

文翔館時計塔内部見学会& ミニトーク『文翔館ものがたり』

2025年6月14日(土)

今年も「時の記念日」に合わせ、時計塔内部見学会を行いました。参加者の方からは、「時計台の内部がとても複雑で実際に見ることが出来て本当に感激しました。」等感想をいただきました！

また、今回初めて開催したミニトーク『文翔館ものがたり』にも沢山の方にご参加いただきました！



▲榎谷秀一さん(中央)の話を聞き入る参加者



文翔館の日

DAY OF BUNSHOKAN

2025年10月11日(土)

同時開催 街なか賑わいフェスティバル、
やまがた秋の芸術祭

毎年恒例の「文翔館の日」、開館30周年を迎える今年は10月11日(土)に開催予定です！大人気企画の時計塔見学会やハロウィンナイトの他、講演会やワークショップなど様々なイベントを企画予定しています！皆さまのご来場お待ちしております。

※時計塔内部見学会、ハロウィンナイトは事前応募制になります。詳細は随時文翔館HP等でお知らせします。



スタインウェイを 弾いてみよう

昨年好評いただきました「スタインウェイを弾いてみよう」を今年も開催中です。

今年は不定期開催になりますので、開催が決まりましたら文翔館HP・SNSでお知らせいたします。

※応募受付は各開催時期の約3週間前から開始します。詳細は文翔館HPにて随時お知らせしますので、改めて文翔館HPをご確認ください。

参加費: 1グループ(5名様まで) 1,000円



文翔館展示事業

会場: 2階ギャラリー

令和7年度文翔館収蔵品展

「文翔館30年の軌跡」2025年7月5日(土)～8月3日(日)

今年、開館30周年を迎える文翔館のこれまでの振り返る収蔵品展。

開館に至るまでを追った当時の新聞記事や、これまで発行した広報誌、イベントの写真など、30年分の思い出を大公開しました。

「文翔館30周年おめでとう!!!」と、愛情いっぱいのメッセージもたくさんいただきました！

企画展 2025年11月1日(土)～30日(日)

2025年は昭和元年からちょうど100目にあたります。

この節目に、昭和の山形のニュースや人々の暮らしを振り返ります。

収蔵品展 2026年2月28日(土)～3月22日(日)

わずか15年という短い期間でありながら、独特の文化と価値観で人々を魅了する大正時代。

そんな大正期の収蔵品を紹介するほか、山形県旧県庁舎及び県会議事堂(大正5年創建、現 文翔館)建設の背景にも迫ります。



文翔館自主事業

山響ハートフルコンサートinやまのべ
山辺町中央公民館

2025年8月31日(日)
15:00開演

大人のためのクラシック
入門と題し、曲の解説を聴
きながら楽しめるコンサート
です。



▲昨年度の公演より

金子三勇士 ピアノ・リサイタル
文翔館 議場ホール

2025年11月16日(日)
14:00開演

日本とハンガリー 2つの
祖国をもつ若きピアニスト
が文翔館に! 力強さと繊細
さをあわせ持つ、華やかな
響きをお楽しみください!



©Seiichi Saito

※詳細は随時文翔館HP等でお知らせします。

column

創建 **109** 周年

1916年6月15日に現在の文翔館が
完成し、今年で創建109周年!



2 番目

文翔館の時計塔は、現在動いている
時計の中で、日本で2番目に古い時計!

文翔館の館内案内をしてくれる、ガイド
ボランティアの在籍人数はなんと78名!



78 名

令和7年7月現
在の文翔館の来
館者は435万人!
年間で約15万人
のお客様に来館い
ただいています!

来館者
435 万人



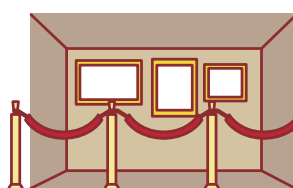
30 周年
文翔館 開館
ミニコラム

数字で分かる! 文翔館のすごいトコ!

文翔館は令和7年10月1日に開館30周年を迎えます。県内外はもとより、国外からも多くのお客様が来館され、来館者人数は延べ435万人(※令和7年7月末時点)となりました。これからも文化の発信地として、皆様に愛される文翔館を目指してまいりますので、沢山お越しいただければ嬉しいです!

1995年10月1日に山形
県郷土館(愛称: 文翔館)
が開館して30周年!

開館 **30** 周年



文翔館は
博物館の役
割もあり、実
は収蔵品(明
治期の山形
の姿を写し

た写真乾板、最上川舟運に関するコレク
ション、民具、古文書
等)が約3万点保管
されています!

約 **3** 万点

復原工事
約 **10** 年

現在の文翔館は
約10年におよぶ
復原工事で完成しま
した!

